

埼玉県新座市シルバー人材センター会報

ゆうゆう通信

2023年7月15日 第116号



(北野3 アジサイ)

— 目次 —

- 2 頁 第44回定時総会報告／令和5年度事業計画
- 3 頁 役員人事／部会・委員会メンバー
- 4 頁 令和5年度表彰者／安全標語優秀作
- 5 頁 新座市福祉フェスティバルで活躍
- 6・7頁 輝くシニアの時代 田中ハツエさん／チーム・キャロット
- 8 頁 新・健康ニュース
- 9 頁 言いたい放題 時事呆言 私の物忘れ防止法
- 10頁 私のゆうゆうエンタメ Drive Haiku Yumcha Helmet
- 11頁 親睦会だより
- 12頁 SC掲示板 理事会報告／会員開発委員会／編集後記

**NS**
SILVER

第44回

定時総会



福島和男 理事長

伸ばし、ジャンプできるよう、会員の皆様で力を合わせて課題に立ち向かっていきたいと思っています。
まだ残るコロナに注意しながら、元気に進んでいきましょう。

令和5年度 事業計画

令和5年度センター運営の基本方針に基づき、次に掲げる六項目について具体的に取り組んでまいります。

また今年も会員のご協力をいただいた際の総会開催となりましたが、恙なく終えることが出来ましたこと、改めて御礼申し上げます。
センター活動にあつてはここ数年厳しい状況が続いています。センターの大きな課題とした会員の確保・拡大、就業の場の確保・拡大はセンター活動の基本であり、活力の源となります。コロナで縮こまった軀を

- ① 会員の拡大と意識の向上
(主な項目を抜粋)
- ② 就業の拡大、就業活動の支援と適正就業への取り組み
- ③ 安全の徹底と健康管理
- ④ 社会奉仕・地域貢献活動の展開と展望
- ⑤ 成年後見事業の展開
- ⑥ 組織運営等

定時総会のもよう



令和5年度 表彰者賞状授与式



来賓 左から並木傑市長、白井忠雄新座市議会議員、安藤友貴埼玉県議会議員、平松大佑埼玉県議会議員



理事長の挨拶で総会が始まった



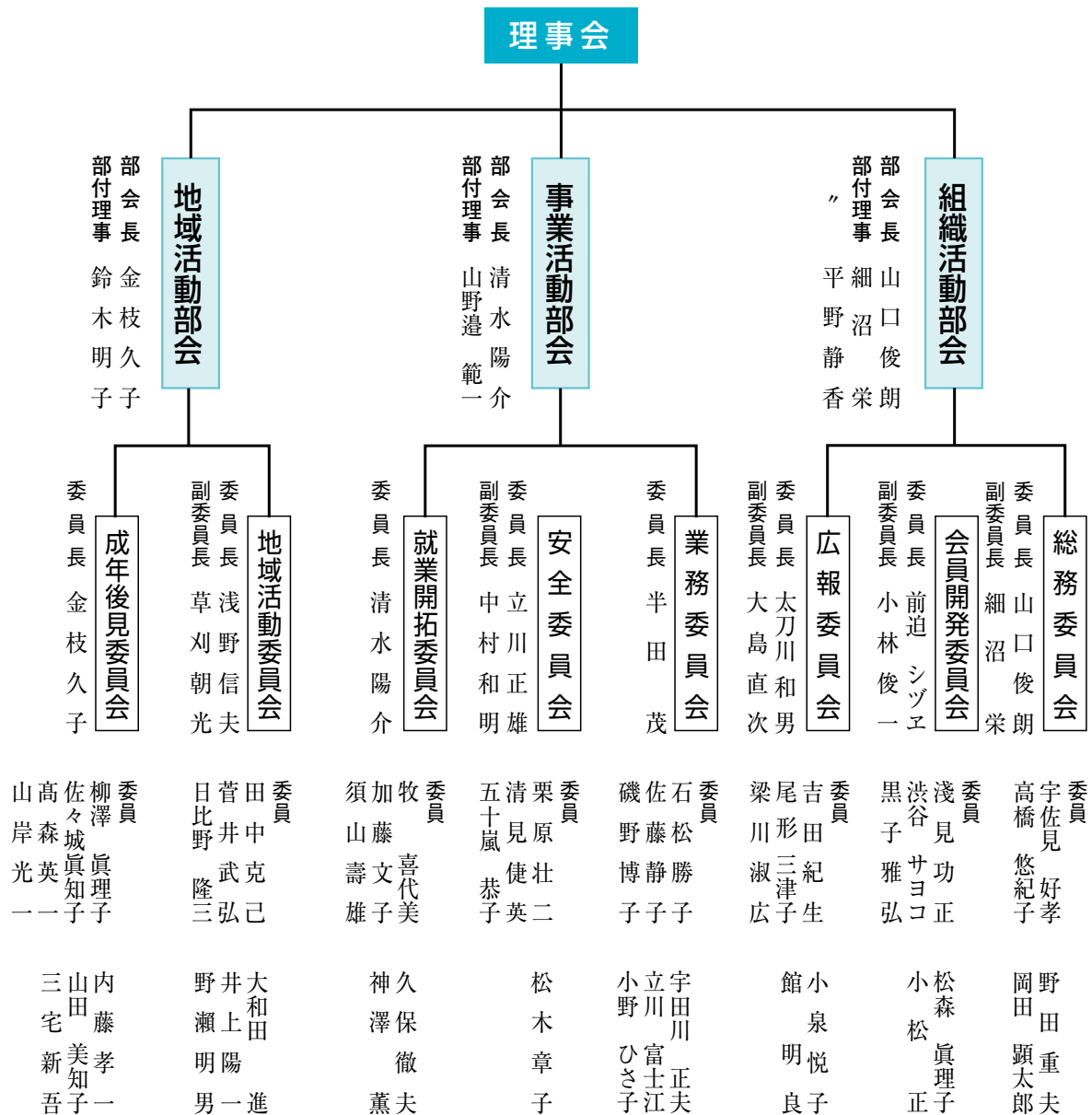
受付風景

令和5年度 役員人事決定

理事長 福島 和男
副理事長 石井 修
理事 金枝 久子
清水 陽介
半田 茂
山口 俊朗
浅野 信夫
前迫 シヅエ
立川 正雄
太刀川 和男
細沼 栄
山野 邊 範一
鈴木 明子
平野 静香
片山 佳則
島村 斎
監事 飯塚 剛彦

部会・委員会メンバー

一部、人事異動がありました。令和5年度の部会・委員会の新たなメンバーを紹介します。



令和五年度表彰者

委員会に初出席し、配付資料を見て名称が異なることに気がついた。正式には表彰に値する人物を公平で公正に選考を行うために設置された「選考委員会」である。

8委員会から各1名と事務局長で構成されて、総務委員会委員長が委員長と規定されている。定刻前に入室し「初めてでよろしく」というと、先着3名の内2名が「私事です」とのこと。8分の3が新任。会議冒頭に理事長の挨拶。



第1号該当者（地区長・地区委員・職群班正副班長として3年以上に亘りセンター事業に貢献し、その功績が顕著であると認められた者）

- 肆矢 良司 職群班長 4年9ヶ月
- 清水 義之 職群班長 4年
- 飯野 秀雄 職群班長 3年
- 山田 英之 職群班長 3年6ヶ月
- 太刀川 和男 職群班長・地区長 6年
- 橋本 淑子 地区長・地区委員 11年
- 滝澤 正純 地区委員 7年
- 今野 孝昭 職群班長・地区委員 5年
- 柳田 慶子 地区委員 3年
- 伊藤 守 地区長・地区委員 13年
- 田本 勝 地区委員 3年
- 小林 泉 地区委員 5年
- 葛巻 秋子 地区委員 3年
- 尾澤 宏昭 地区委員 5年

第4号該当者（各委員会委員若しくは役員）

- 河合 均 総務委員 5年11ヶ月
- 柴田 進 業務委員 4年
- 杉山 保文 成年後見委員 4年
- 高橋美智代 親睦会 7年

第6号該当者（センターの発展に貢献し功績が顕著な事業所・団体等）

- 特定非営利活動法人 新座子育てネットワーク 継続5年以上
- (株)キャピテックビルコミュニティ 継続5年以上
- (株)日創美装 継続5年以上
- フルテック(株)東京支店 継続5年以上

ここにきて従来にない会員の落ち込みに憂慮している。現在の共通課題として、会員拡大に「みんなで協力されたい」と述べられた。討議の第1号該当者（役職永年貢献）は、各職群正副班長、地区長。第4号は委員会リストからの該当者選出である。リストを見ると3年から13年と在任期間に大きな違いがある。事務局長から新任者に「表彰基準は退任時のため差が出る」と説明があった。今年合計18名が該当し承認された。



令和五年度

安全標語優秀作(敬称略)

〈優秀賞〉栗原 壮二

『慣れる程 基本動作の再確認
手順を守って事故防止』

〈入選〉土屋 芳夫

『安全は一人ひとりの心掛け
守るルールと指差呼称』

〈入選〉石上 健藏

『罰則は無いけど被る
ヘルメット 被ったおかげで
軽いケガ』

〈佳作〉中村 和明

『一人ひとりの心掛け
睡眠食事 フレイル体操
自分で作る健康体』

〈佳作〉五十嵐 恭子

『無事という言葉の重さ
かみしめて 逃る心に一呼吸』

〈佳作〉金澤 助四郎

『慣れたこと 行う時こそ
慎重に』

新座市福祉フェスティバルで活躍



かき氷や焼きそばを売るフードコーナーに長い列



場内の特設ステージではダンスや演奏も披露された

第30回新座市福祉フェスティバルが5月28日、市役所駐車場と市民会館で開かれ、市内68団体が模擬店出店やステージ発表などで参加、約1万2000人の来場者でにぎわった。

「心のかよう福祉社会をめざして広げようふれあいの輪を」をテーマに市社会福祉協議会などで行う実行委員会がコロナ禍の3回中止を経て4年ぶりに開催した。

第1回から参加している新座市SCはおなじみのリサイクル自転車販売を出店。

30年近いベテランの北岡郁三さんと、もうすぐ3年になる中屋怜さんの2人が、普段は引き取った放置自転車を新品並みに再生している石神の販売所から会場のテントに6台を陳列。消費税と防犯登録料込みで8000円からの値段は魅力的でこの日2台が売れた。

油圧部品の製造会社員だった北岡さんは「機械扱いが好きで」、中屋さんも「再生するのが楽しい」。業務に張り合いを感じているようだ。

(梁川)



新座市のイメージキャラクターのゾウキリンも来場した



新座市SCのリサイクル自転車販売担当の北岡郁三さん(左)と中屋怜さん

輝くシニア の時代



発表会で踊る田中ハツエさん（写真は2枚とも本人提供）

田中 ハツエさん
 新座ふれあいの家就業
 新座市SC親睦会幹事（会計）
 16地区長



娘さん（左）と踊る田中さん

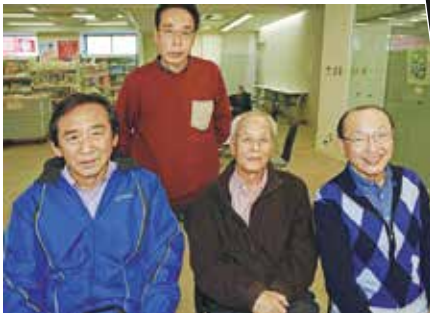
日本舞踊は尾上流で、拠点は東京・新宿区内にある。関東の全教室が集まって年1回開かれていた発表会は、コロナ禍で4年前を最後に開催されていない。自身もしばらく教室通いを見合わせていたが、コロナの収束状況を見ながら再開したいと思っている。

20代後半に日本舞踊と出会って40年以上になる。故郷の福岡県八女市から上京し就職。着物が好きで母が作ってくれた着物を着ているのを見た友人が、自分の通う尾上流の教室に誘ってくれたことがきっかけだった。舞台公演を何度か見せてもらううちに師匠から声をかけられ入会して週1回稽古に通うようになった。

「先生は各地に根付いた農作業の後の憩いの踊りや歌を『土の踊り』と表現されました。そして、伝統の日本舞踊を学びつつ、土の踊りの良さをみんなに知ってほしい、そのために教室を作ったとおっしゃっていました」。その考えに共感し、己を磨くために教室に通う。また、娘も小学5年から同じ教室に通っている。

新座市には定年で勤めをやめた10年ほど前に引っ越して来た。高齢化が進む新座団地で、ゴミ出しや買い物代行などのボランティア活動をする「おたすけ隊」で会計を担当。シルバーで地区長も務めている。（梁川）

会員の皆様に
元気を
お届けします



前列左から銀山、館内、石井の各氏、後列は横山氏

チーム・キャロット



- 館内 實さん 元SC副理事長
- 石井 修さん 現SC副理事長
2022.6 チームキャロット灯明祭り
志木駅南口地下駐輪場就業
- 横山 勇さん 広報ポスティング全般
法臺寺清掃長就業
- 銀山 寛さん 新堀ふれあいの家就業
- 大宮明子さん 並木操子さん

SCの元、現副理事長が活動の中心に座る賑やかなチーム・キャロットである。設立は平成26年。「地域活性化に貢献する活動を行う」という大きな目的に向け結成されたチームだと胸を張る。平成27年には新座市市民公益活動保証制度登録済だ。当初はこぢんまりとして7、8人のメンバーが駆けずり回り、やっと形にしていく過程を私は見てきた。満9年の間に、男性12名、女性11名、顧問2名という団体に育ち、新型コロナウイルス蔓延の3年を除き活発な活動を続けてきた。

はじめは6月の西分町内会の「ほたるまつり」に相乗りしての『灯明まつり』だった。地元企業等の協賛を受けて最大2000灯の灯明に陣屋・野火止・大和田小学校等の児童が絵付けをし、野火止用水緑道に点灯。その上、跡見・十字両女子大、立教大学生が協力、西分町内会の予想を超えるものに発展してきた。絵付けには地元の著名人の協力もあり、まつりに来られた方々も興味津々で見て回り混雑するようになった。

そのため昨年からふるさと新座館前の「ふるさと新座館」との共同開催に切り替えた。今年(令和5年)は、10月28日(土)に同所で実施するとのこと。「ぜひお運びを」と全員に頭を下げられた。2000灯もの絵付けを準備し、点灯し会場に並べ、終了後は撤収・補修をおこない、翌年までの保管は大変煩わしい作業だ。これらを分担し毎年行うのは、余程会員の一人一人の意識が高くないと長くは続けられない事だ。

これとは別に児童センターの活動で年4回の「フードパントリー支援」を行っている。まだまだやる気十分のチームである。(吉田)

保健センターが野火止二丁目に移転しました。



新・健康ニュース

令和5年4月に保健センターが歴史民俗資料館(れきしてらす)との複合施設として野火止二丁目(新座消防署隣・新座中学校前)に移転・開所しました。施設の中心に光庭を設置することにより、自然光が溢れる明るい施設となっています。保健センターは、主に母子保健事業を行っており、乳幼児健診や母子健康手帳の配布などを実施しています。

また、健康相談(予約制)、各種がん検診、予防接種も実施しております。

ゆうゆう通信の読者の方には、新しくなった歴史民俗資料館を見学することをお勧めいたします。新座の歴史に思いを馳せた後は、散策路に足をお運びください。散策路は、まだ若木が多く、植物を楽しめるほどには成長しておりませんが、数年後には緑豊かな場所となる予定です。

なお、暑い日には、待合室をクールオアシススポットとして開放いたします。是非、涼みに来てください。これからの季節は、のどが渇いていなくてもこまめに水分補給をし、暑い夏を乗り切りましょう。



【待合室】

夏にはクールオアシススポットとしても利用できます。



【相談室】

心身の健康に関する相談をお受けします。(予約制:048-481-2211)



言いたい放題 時事 呆言



「私の物忘れ防止法」

▶ 漢字ドリルを時々少し ◀

最近、認知機能が低下中だと感じる。冷蔵庫や机の前に行くとよく「はて、私は何をしに来たんだっけ？」となる。「う～ん」としばし考えると思い出すこともある。でもちょっと心配なので、ブック〇〇で漢検用ドリルを220円を買ってきた。この値段なら途中でやめても惜しくない。ドリルで少しは脳が活性化するといいな。早速書けるようにして自慢なのが「鬱」である。「林の中に缶づめ、屋根の下のうつわに×と4粒、下にヒ、右に斜め三」とイメージする。覚え方を考えるのが脳に良さそう。

(脳の老化に抵抗中の女 野火止68歳)

▶ 大学ノート50年ぶりの出番 ◀

定年退職をしてから年をとるにつれ「物忘れ」が段々と激しくなってきた様に思う、「原因と対策」を考えねば。サラリーマン生活が永く、急に緊張感が無くなった？ はたまた体の異変か。若い頃は自分の都合で忘れたフリをする(時々)、しかし今は少し様子が違う。メモ書きがあちこちに貼ってある、時には何のメモかも判らなくなる始末。そこで書き残しの黄ばんだ大学ノートの出番。メモなどは内容別に貼り、封書などは挟み込む。一応「対策」は完璧かなと思いきや、見るとノートは「私の腹の如し」パンパン！まあ～いいか。スマホ・小物と家内の誕生日(最重要)対策はいずれ。

(さかえ村のためき 栄77歳男)

▶ ハトガマメクツテキー ◀

新人の頃、先輩と得意先へ同行することになった。車の中で名刺入れを忘れてきたことに気が付いた。その時は厳しく注意をされたが、会社に帰ってから「部屋のドアにこれを貼っておきなさい」と小さな紙きれを渡された。そこには『ハトガマメクツテキー』と書いてあった。ハ(ハンカチ)ト(時計)ガ(がま口)マ(万年筆)メ(免許証と名刺入れ)ク(櫛)テ(手帳)キー(キー類)と朝、復唱確認してから出社しろというのだ。年老いてからの物忘れ対策としてもこれが最善手と今も先輩に感謝している。今も自分の部屋のドア、TV画面の右上隅に色とりどりの付箋紙が活躍している。

(次はおでこに付箋を貼る男 大和田70歳)

▶ 認知症対策が裏目に？ ◀

75歳を過ぎると運転免許更新時に、認知症テストが義務付けられる。どんな問題が、どんな手順で出されるのか、先輩にリサーチした。するとインターネットに公開されており毎回出題内容は変わらないのだという。早速覗いてみると、16枚のカードに4コマずつ(計64コマ)、楽器、昆虫、動物、武器などの絵が描かれており、一度見せられた後に別な作業をさせられる。しかる後、動物では何が、楽器では何が描かれていたかを1つだけ(計16)だけ答える。この時、暗記して臨むと描かれていなかった動物や武器まで答えてしまう羽目に陥る。記憶力対策が却って仇になった訳だ。お気を付けて。(前のめりな男 愛宕76歳)

▶ 健康エクササイズで対策 ◀

数年前、人は60歳を超えたら「キョウイク」と「キョウヨウ」が必要だという記事を雑誌で読んだ。「キョウイク」とは、今日行くところがある。「キョウヨウ」とは今日、用がある。なるほど！ そういえば、手の指を見て、中指にできていたペンダコもいつの間にか小さくなり、いかに手書きで文字を書かなくなっているかに改めて気付き、反省。最近では出来るだけ手書きで文章も書くようにして、時間がある時は、億劫がらず、(PCの漢字変換に頼らず)こまめに辞書を引く。先日、東北コミセンに行った時、「健脳エクササイズ」という8頁の冊子があったので参考にと一部もらってきた。good timing。(薄れゆく記憶に足掻く女 東74歳)

▶ お手本は94歳 ◀

一昨年程前、青森県五所川原市で笹餅を作って売っている、94歳女性のドキュメンタリー番組に1時間釘付けになってしまった。先ず、餡にする小豆作りから始まり収穫後その小豆で餡を作り、餅に使う蓬と、それを包む笹を採りに山に入り、使う分だけ採ってきて…何しろ全て自分一人での作業。何故、手伝ってもらわないか？の質問に彼女曰く、自分の母親から言われた言葉だけど、人間、五体満足であれば、それを休みなく使い続ける事。頭、目、手、指、足、全て。

私に真似は出来ないけれど体が動く限り心がけています。これも物忘れ防止につながる・・・と。

(物忘れ防止法ミケた70歳 野火止女)

私のゆうゆう エンタメ

映画 音楽 文学 芸能 スポーツ などなど

会員の皆さんのこれまでの人生で、心に残った経験や作品や1シーンなどをご紹介ください。ジャンルは問いません。約380字と写真やイラストです。

Drive

(新座2 木村 純)

日本海沿岸北上の旅

少し古い話になりますが、やってみたかったロングドライブ兼撮影旅行を定年を機に計画、実行しました。

日本海沿岸北上の旅です。島根県松江をスタートに鳥取県の砂丘。京都府の舟屋で有名な伊根町。天橋立。能登半島輪島千枚田。新潟県親不知経由で高速道路をなるべく利用せず海岸線を走る6泊7日気まぐれな1人旅でした。



日本海沿岸は、太平洋沿岸と比べると町と町の間に小さな港が点在し、起伏に富んだ自然豊かな海岸線など被写体に事欠かない風景がありました。一番撮りたかった景色は撮影スポットとして有名な松江の宍道湖に沈む夕日でした。当日は残念ながら天候に恵まれず満足できる写真を撮る事ができませんでしたが、空模様を気にしながら三脚片手に湖岸に陣取り、その瞬間を待っていた時間はよき思い出として記憶に残っています。

Haiku

(道場1 太刀川 和男)

句集「夕照」を会員の出版社から刊行

山里の真昼ねむたし瓜の花

句に触発されて、作者が見ていただろう情景が目に浮かぶ。夏の光が眩しい昼下がり山里は緑に埋もれている。せつない程の静けさの中、疎らな民家が風景に溶け込み眠気を誘う。お気に入りのポケットウチスキーは半分程になっている。胸に秘めたる想いを吐き出す事が出来ず、すれ違う村人は無く、行く宛ても無く一人一本道を牛歩の如く歩く。道端にまではい出た瓜の花にふと気付き、それは切りとった1枚の額絵の様である。心地よいがどこか気だるい酔いが醒め、我に返ると、現実の世間に引き戻される。「何故、此处にいるのだろう、何故、生きているのだろう」と頭のなかで呟いてみる。



作者2冊目の句集が「蒼い馬書房」から出版された。発行者は新座市シルバー人材センター会員でもある大島直次氏である。著者である勝呂睦男氏は元会員であり、広報委員会の大先輩でもある。

Yum cha

(野火止7 尾形 三津子)

香港飲茶の「腸粉」 ちょうふん

中国に返還される前、香港に旅行して初めて腸粉を食べました。メニューの腸粉という文字にびっくりしましたが、試しに注文してみました。出てきたのは、大きなクレープの中にエビやチャーシューなどの具が巻かれて



入って、ふっくらと蒸された料理でした。熱々で、少し甘い醤油味のタレがかかっていて、ほっぺたが落ちそうなくらいの美味でした。腸粉の「腸」は、形が腸に似ているから。

そして「粉」は料理用語で、米などを粉にしてから水に溶かして加工した食品のことだそうです。韓国語でもトッポキ

やラーメンなどを粉食と言うので同じですね。先日、横浜中華街で香港飲茶の店を見つけたので、嬉々としてエビとチャーシューの腸粉を注文しました。ですが、美味しさは“今百歩”でした。

Helmet

(北野3 吉田 紀生)

また無駄なコレクションが始まった

自転車乗車にはヘルメットと言われるが、町中の九分九厘はかぶっていない。80歳の誕生日に免許を返納し、今は写真撮影を含めもっぱら移動手段は自転車が中心だ。三富新田辺りまで川越街道を走っている。



車道を走るため、脇を大型トラックが疾走する。風に煽られ、身の危険を感じる事が多い。一念発起してヘルメットを購入。

草野球以来のメットだ。店頭は種類が少なくネットサーフィンに。1,500～100,000円とよりどりみどりの中から、バイク125ccまでの本格派ハーフキャップを選択。税込4,389円だ。3日後に届き、かぶると暑い。風が通らず、もう1個購入する。慣れ親しんだ草野球のメットに近く3,949円。TPOで使い分け、夏場はこちらをメインと決めた。まだまだ増えるかも？

▼親睦会だより (令和5年度総会)

地域交流の充実を目指す

親睦会会長 後藤 勝義

会員の皆様には日頃より親睦会事業にご理解とご協力いただきありがとうございます。

令和5年度の総会は、6月18日(日) 市民会館中ホールでSC定時総会にひき続き開催。今回は新型コロナウイルス

感染も落ち着き、参加者の表情も明るい様子でした。SC事業はシルバークル会員の「就業活動」などの社会的役割を基本としております

が、親睦会は新春のつどい・親睦会文化祭・春、秋の日帰り旅行・サークル活動など会員相互の交流が目的になります。しかし、令和4年度も新型コロナウイルス

拡大で親睦会事業がほとんど出来ない状況でした。そこで新しい事業を模索し、デジタル化でこれまでスマホ講座を3回行い、また、令和3年度からシルバークル柳の募集を年1回のペース

で実施して参りました。スマホ講座についてはアンケートでもっと多く増やしてほしいとのこともあり今年度から年6回。シルバークル柳については年2回実施して参ります。



今年度の親睦会は2名の新役員を迎え総勢13名でスタートいたします。役員一同、皆様の期待に添えるよう努力して参りますので、ご協力ご鞭撻の程宜しくお願いいたします。今年度、親睦会活動として次の7項目を中心に進めてまいります。

令和5年度の事業計画

①新春のつどい 毎年1月中旬予定

②親睦会文化祭 令和6年3月頃、親睦会

独自に文化祭的な催しを模索検討して参ります。

③日帰り旅行春・秋 春の日帰り旅行は本年5

月末実施済み、秋の日帰り旅行は10月頃予定。

④サークル活動 サークル会合を7月12日

に実施、また、サークル助成金についても、会員数に比例して配布します。

⑤地域活動と連携強化 親睦会役員が各地区の懇

話会等の会合に積極的に参加して参ります。

⑥福利厚生について 地区の福利厚生の一助と

して「地区厚生事業助成金」を実施します。

⑦新事業 スマホ講座 年6回

シルバークル柳 年2回

訂正 115号でお知らせしました銀声カラオケクラブの代表者は萩元義明氏から堤勇次氏に代わりました。(090-9326-4412)

新・サークル紹介 「健食交流会」

6年ぶりに新サークル誕生、親睦会サークルは8サークルになります。

健食交流会は、令和5年4月1日に9地区の会員中心に健康で楽しい毎日を過ごすため、おいしいものを食べ、食を通して仲間と交流をすることを目的に発足しました。会員の皆様の入会を心から歓迎します。

- ・メンバーは現在14名
- ・活動場所 野火止公民館
- ・年会費 実費(1,000円)
- ・今年度の活動です。 6月16日、9月15日、12月15日、3月15日。

全て金曜日の午前・午後1人でも簡単に美味しいものを作ることが出来るように、みんなで教えあう和氣満々の会をめざしています。興味のある方はご連絡ください。

(連絡先 櫻 博子048-479-6225) Mail:roco@mx6.nisiq.net



令和5年度親睦会役員 新任・変更・退任

※新任

- ・幹事 小菅さちよ(あたご)
- ・監事 吉川 京子(大和田)

※役職変更

- 会計から 幹事 橋本 淑子(野火止)
- 幹事から 幹事 田中ハツエ(新座)

※退任

- ・幹事 佐々木俊一(石神)
- ・監事 高橋美智代(野火止)



新任の小菅さちよさん(左)と吉川京子さん

理事会報告

第1回 (4月28日開催)

① 令和4年度事業報告が報告され承認された。
 ② 令和4年度計算書類及び付属明細書類並びに財産目録について報告され承認された。

③ 正会員 (4月分) 男性7名、女性7名、合計14名の新規正会員の入会が承認された。

【4月末現在正会員数は1756名】

④ 役員利益相反取引について承認された。

⑤ 3月分の実績について報告された。

第2回 (5月31日開催)

① 令和4年度事業報告・令和4年度計算書類及び付属明細書類並びに財産目録について最終決定を行った。

② 第44回定時総会の招集について報告され承認された。

③ 第44回定時総会の議案について報告され承認された。

④ 正会員 (5月分) 男性9

名、女性8名、合計17名の新規正会員の入会が承認された。

【5月末現在正会員数は1760名】

⑤ 第44回定時総会被表彰者について承認された。

⑥ 4月分の実績について報告された。

⑦ 監査報告が報告された。



第3回 (6月30日開催)

① 正会員 (6月分) 男性17名、女性14名の新規正会員の入会が承認された。

【6月末日現在正会員数は1722名】

② 5月分の実績について報告された。

③ センター年間スケジュールについて報告された。

会員開発委員会

「経験を活かして、お仕事をしたというお友達がいらつしゃいましたら是非シルバー人材センターにご紹介下さい。お二方に粗品贈呈」という会員紹介キャンペーンを実施中。この新規入会希望者紹介用紙は会員各位に配布済ですが、事務局にも置いてあります。

日常生活は〈定期入会説明会〉毎月2回、センターで実施。〈移動入会説明会〉は6月、11月、2月に各公民館・コミセンで実施しています。

(日程はゆうゆう通信折込や新聞一般紙折込で)。

令和5年度は、入会説明会のみではなく、長期在籍会員、活動貢献会員、夫婦・家族会員等に対する制度の見直しや特例の検討を行っています。

又、シルバー人材センター埼玉連合のキャンペーン相乗り、地域活動委員会への協力依頼等々あらゆる機会を活用しながら、他の委員会・理事会と連携して事業実現を進めて参ります。

編集後記

「福祉」を広辞苑で引くと「幸福」と出てきます。「愛」と要約する教授もいます。これに制度や奉仕の思想を加えると「社会福祉」となるそうです。

さて、コロナ禍で中止していた《福祉フェスティバル》が久しぶりに再開され、好天に恵まれ多くの来場者で賑わいました。中には地元大学の学生さんも少なからずいました。

当SCも古株として恒例のリサイクル自転車販売で参加致しました。当センターのもう一つの理念である社会福祉の具現化に向けた取り組みを紹介する場になりました。

直接の活動者への感謝を込めて1ページを割いて掲載致しました。又、奇しくも《キャロット》グループの記事を掲載致しました。町内会や地元大学生と協同して、地域活性化を目的としたボランティア団体です。いずれもSCでなければ出来ない社会福祉との関わり方だと思えます。(太刀川)

【表紙の吹き】

代表的な夏の花を選んだ。今までは安易にキツネノカミソリや向日葵。夏の代表選手の一番手はなんととっても紫陽花でしょう。

長年同居する女が、ペラングいっぱい各種紫陽花の鉢を丹精している。毎年撮っている内から好きなカットをチョイスした。(吉田)

訃報

柳澤 幸男様 (89歳) 野寺2丁目

成田 常夫様 (86歳) 野火止1丁目

石丸 義和様 (82歳) 野火止8丁目

久保野照子様 (80歳) 野火止3丁目

二宮 梅夫様 (76歳) 新座3丁目

木村 文夫様 (82歳) 栗原5丁目

齋藤 喜義様 (86歳) 野火止3丁目

謹んで哀悼の意を表し、ご冥福をお祈りいたします。